

**（仮称）第四次稲城市
長期総合計画に関する
提言書**

～ 豊かな自然と市民のふれあい・いのちを守る i - プラン ～

平成 21 年 6 月

稲城のみらいを考える市民会議

はじめに

稲城市は、新たな長期総合計画の策定にあたり、より多くの市民の参加と協力で計画策定を進めるという方針のもと、「(仮称)第四次稲城市長期総合計画市民会議」(以下「市民会議」)の設置を決定しました。市民会議は、「多様な意見や価値観を有する市民が稲城市の将来像など長期総合計画について、自由に議論し合意形成した内容を提言書としてまとめ、市長に提出する」ための組織として位置づけられ、18歳以上の市内在住・在勤・在学の方を対象に参加者の募集が行われました。

市民会議は、市の呼びかけに応じた市民29名、若者から高齢者など幅広い年齢層の男女で、多様な意見を有する顔ぶれで平成20年7月に発足し、提言書作成の議論を踏まえて、平成21年5月に、正式名称を「稲城のみらいを考える市民会議」と決定しました。

市民会議は平成20年8月～9月に「今後の稲城市のあるべき姿」などについて、3つのグループに分かれて議論しました〔分散会方式〕。この議論で出されたテーマを分野別に整理して3分科会を設置し(「市民のいのちと生活を守る分科会」、「地域コミュニティ分科会」、「自然とみどり分科会」:正式名称は平成21年5月に決定)、参加者は、それぞれの関心に従って分科会に所属しました。

平成20年10月～平成21年3月まで、分科会ごとに提言案作成を精力的に進めました。分科会では、全員が参加する機会を多く作るために、問題提起者、司会、記録者を交替で行ない、議論を積重ねていきました。平成21年4月に、各分科会から出された提言案を全体会議で調整し、提言の「中間取りまとめ」として公表して市民の皆様の意見を募集し、多数の貴重な意見を頂きました。4月～5月までは、寄せられた意見を踏まえて、全体会議で議論を行い、提言の内容を調整し、まとめたものがこの提言書です。

この間、提言書を作成するため、現場や施設の視察、資料や情報の収集を積極的に行ってきました。それぞれの意見がぶつかる場面もありましたが、調整し予定の期限までに提言書をまとめることができました。

なお、市民会議に求められた検討項目は、人数や時間の関係から、(仮称)第四次長期総合計画に掲載すべき全領域・全施策ではなく、参加者の関心が高く、総合計画に反映していくことが必要であると考えた分野としました。その結果、提言の範囲として公害やゴミ・リサイクルなどの環境分野や行財政運営については、直接的には言及しておりません。

市民会議は、8万市民からすれば、とても小さな存在かもしれませんが、できあがった提言書にはメンバーの思いが込められており、熟成されているとは言えないかもしれませんが、しかし、長期間にわたり議論してきた成果は、稲城市の未来に一石を投じたものと考えます。この提言書について、策定委員会やこれから設置される審議会において、十分な検討をしていただき、(仮称)第四次稲城市長期総合計画が、稲城市にふさわしい未来を展望した計画になることを願っております。

おわりに、市民会議において市民同士の新しいつながりをもてたことに感謝するとともに、本提言書が稲城市の将来を考える多く市民の参考になれば幸いです。

目 次

I	市民会議提言	1
A	なくてはならない行政サービスの充実（市民のいのちと生活を守る分科会）	2
	提言 1 市立病院を中心とした医療体制の維持・拡充	4
	提言 2 障害があっても豊かに暮していけるまちづくり	6
	提言 3 高齢者にも安心して暮せるまちづくり	7
	提言 4 子どもの権利を守る観点に立った子育て支援	9
	提言 5 教育格差のない、どの子もいきいきと輝く教育	12
	提言 6 男女平等参画社会の実現	14
B	人の和で、元気なまちづくり（地域コミュニティ分科会）	16
	提言 7 地域ごとに「コミュニティづくり」を進めよう	18
	提言 8 安心して安全に暮せるまちづくり	21
	提言 9 生涯学習活動を通じて共に学ぶまちづくり	24
	提言 10 スポーツ活動を通じて健康なまちづくり	25
	提言 11 活発な市内交流をはぐくむ交通の整備	27
	提言 12 働く場の創造とにぎわいのまちづくり	30
C	豊かな「自然とみどり」を守り、育てよう（自然とみどり分科会）	32
	提言 13 豊かな「自然とみどり」を守り、育てよう	34
	提言 14 みどりの源である「森林」の保全・管理を進める	37
	提言 15 地域の自然環境にマッチした「河川のみどり」づくりを目指す	42
	提言 16 市民みんなでつくろう「楽しく魅力ある公園」	45
	提言 17 緑視率の向上・豊かな生態系・建物など「市街地の緑」を大切に	48
	提言 18 緑の「景観の質と量の向上」を目指し、保全・創出する	50
	提言 19 お金・労働・知恵で農家を支援し、「農地を維持・育成」する	53
	【付属資料】	56
II	提言書（中間とりまとめ）に対する意見と市民会議の考え方等	59
III	市民会議の討論経過	69
○	市民会議参加者名簿	73